

令和4年度第3回地域包括支援センター運営協議会会議報告書

1. 開催日時 令和5年2月9日(木) 午後2時から午後3時52分まで
2. 開催場所 保健福祉センター 団体活動室
3. 出席者 小木曾会長 松本副会長、福岡委員、鶴澤委員、廣瀬委員、河合委員、加藤委員、坂巻委員、中世委員、金親委員  
 欠席者 本間委員、國島委員、菊地委員、加瀬委員、濱淵委員、  
 事務局 高齢者福祉課 竹内課長、村田係長、加藤主任保健師、堀場主査補  
 白井中央地域包括支援センター 村上、白井駅前地域包括支援センター 櫻田  
 西白井駅前地域包括支援センター 大澤
4. 傍聴者 なし
5. 次第  
 議題  
 (1) 令和4年度地域包括支援センター事業評価について  
 (2) 令和5年度地域包括支援センター運営方針と重点事業について  
 (3) 介護予防ケアマネジメント新規委託契約事業所について  
 (4) その他
6. 議事 以下の概要のとおり

会長	○ 会長あいさつ 小木曾会長よりあいさつがなされる。
事務局	○ 議題 ただいまの出席委員は10名、過半数に達しているので、会議を開会する。 議題1 令和4年度地域包括支援センター事業評価についてを議題とする。事務局より説明を求める。
事務局	資料1により事務局説明後、白井中央地域包括支援センター、白井駅前地域包括支援センター、西白井駅前地域包括支援センターより説明がなされる。
会長	議題1は報告事項となる。ただ今の説明について、何か質問はあるか。 (質問なし)
会長	各地域包括支援センターが頑張ってくれて、出来ていなかった項目の改善ができていくことがわかった。引き続き頑張ってください。 他に意見無いため議題1は終了する。
事務局	議題2 令和5年度地域包括支援センター運営方針と重点事業についてを議題とする。事務局より説明を求める。 資料2-1、2-2により説明 議題2は報告事項となる。何か意見はあるか
委員	直接の質問ではないが、認知症の高齢者が増えてきている。認知症にもアルツハイマー型やレビー小体型など様々であるが、白井市ではどのような割合になっているのか。
事務局	市では認知症の種別について集計を行っていないが、全国的にみてもアルツハイマー型認知症が多い状況になっている。

委員 白井中央 地域包括	認知症の種別によっても対応が異なると思うが、実際の対応について聞きたい。 医療機関につながっている場合は医療機関から対応方法について助言を得ることや、センター内の看護師などにも相談しながら、対応については訪問等を行い、症状や困っていることなどを聞きとり、一緒に対応方法を検討している。
白井駅前 地域包括	例えばレビー小体型だと、多くの方がせん妄や幻覚などの症状がありその事で家族が負担を感じるケースが多い。認知症の種別により治療方法も異なるが、本人が通院に応じないケースが多く、支援の壁を感じる。医療機関とも連携をとりながら支援を行なっている。
西白井駅前 地域包括	介護保険の主治医意見書で認知症の種別を確認することや家族や地域の方からの情報から細かく状況を確認し、オレンジ連携シートを活用してその方の症状や特徴を医療機関にお伝えするなどの連携を図っている。
会長	医師の立場から話すと、アルツハイマー型認知症が圧倒的に多い。新たにアルツハイマー型の治療薬の情報もあるが、現在2種類の薬があり、認知症の程度を改善するものではなくて、症状を安定化させ日常生活を安定して送れることを目指すもの。ただ、新薬についても有効率は25%ほどという情報もある。レビー小体型については、認知症薬があまり効かない。興奮など精神症状を落ち着かせる薬での治療が中心となる。 他に質問はあるか。無いようであれば議題2は終了する。
事務局	議題3 介護予防ケアマネジメント新規委託契約事業所についてを議題とする。事務局より説明を求める。 資料3により説明 何か質問はあるか。 (質問なし)
会長	議題3は、承認事項となるので挙手をお願いする。 全員賛成により承認することに決定する。
事務局	議題4 その他について、事務局より何かあるか。 次回の会議は7月13日(木)を予定している。
会長	以上で本日の会議は終了する。